

㊦ 「日本一の読書県」を目指した総合推進事業

1 事業の目的・背景

県立図書館や学校、家庭、地域等との連携による事業を展開し、子どもから大人まで、生涯にわたって読書に親しむ環境づくりを推進することで、「日本一の読書県」を目指す。

2 事業の内容

(1) 啓発に関する事業

- ① 県民への周知・啓発を図るブックフェアや講演会の開催及びキャッチフレーズの募集等
- ② 生涯読書活動推進計画の策定
- ③ 読書活動推進に係る県民提案型モデル事業の公募

(2) 人財育成に関する事業

- ① 児童向け図書館サービスのための専門講座への職員派遣
- ② 学校の図書主任等を対象とした研修会の実施
- ③ 市町村立図書館及び特別支援学校、へき地学校図書館、公民館図書室への運営助言（実地指導）のための県立図書館職員派遣

(3) 県民が気軽に図書館の本を利用できる環境整備に関する事業

- ① 県民のニーズに即応した迅速な新図書流通システムの構築、障がい者への図書無料宅配に加え、一般利用者（希望者）への図書有料宅配
- ② 図書館未設置自治体等への図書資料セット貸出
- ③ 県立図書館及び県立学校の蔵書の充実

3 事業費

32,955千円

(内訳) 一般財源 : 20,000千円
県営電気事業みやざき創生基金 : 12,955千円

4 事業期間

平成28年度

5 事業効果

- (1) 読書のよさや効果を啓発したり、各種団体と連携した取組を行ったりすることにより、県民の読書に親しむ機運の醸成が図られる。
- (2) 研修等の実施により、専門的な知識を有した人財を育成することで、学校や地域における読書活動の充実が図られる。
- (3) 新図書流通システムや移動図書館車「やまびこ」に代わる配送方法を導入することにより、県内どの地域においても県立図書館の本が利用しやすい環境が整備され、県民の読書活動の推進が図られる。